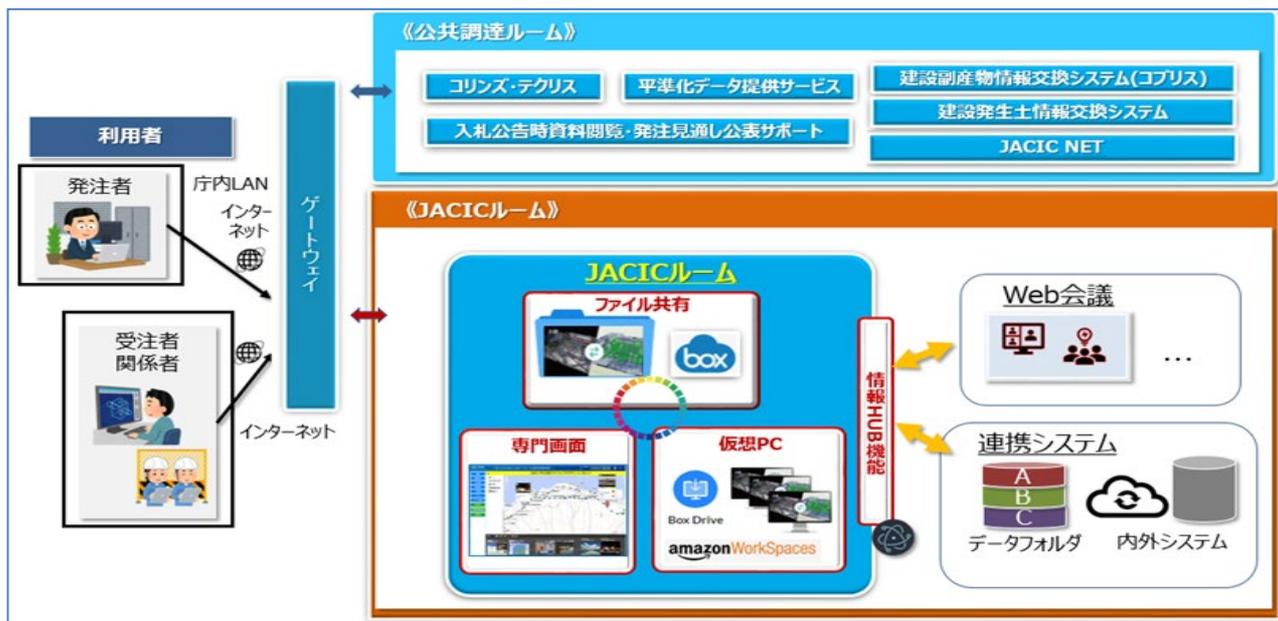


技術概要書（様式）

※別紙2

出展技術の分類	安全・防災 インフラDX 維持管理 環境 コスト 品質		
技術名称	JACICクラウド	担当部署	経営企画部
NETIS登録番号		担当者	塚本 一三
社名等	(一財)日本建設情報総合センター	電話番号	03-3584-2404
技術の概要	1. 技術開発の背景及び契機		
	国土交通省が推進するi-Construction、DXマネジメントの推進に向け、クラウド環境を利用したJACICルームの活用により、建設プロセスの効率化、高度化に取り組むこととした。		
	2. 技術の内容		
	<p>JACICルームはインターネットを介して、登録されたメンバーで情報を共有できるサービスである。</p> <p>JACICルームでは、地図と連携してライブ映像、現場写真、関連情報などを共有、利用できる専門画面のサービスも提供しており、現場状況の把握、共有、施設管理等を支援する。</p> <p>JACICルームの機能を活用して、プロジェクトの事業監理において関係者間の情報共有を支援するとともに、DXマネジメントの提案を行っている。</p>		
	3. 技術の効果		
<p>①JACICルーム 認証・認可やセキュリティ確保のためのゲートウェイ機能とデータ利活用のための情報共有機能をインターネットを介して提供し、関係者間の情報共有の高度化、円滑化を支援する。</p> <p>②専門画面 多くの現場のデータ、画像・映像等の様々な情報を、地図と連携して、集約、一元化して整理、可視化及び共有するシステムで、関係者間での情報共有等を実現する。</p> <p>③現場のDXの実現 協調領域として機能するJACICクラウド(ICTプラットフォーム)を用意し、行政管理者がBIM/CIMのモデルやデータを各段階一貫して継続的に利活用できるようにする。</p>			
4. 技術の適用範囲			
<p>①マネジメント内容に応じた、JACICルーム、専門画面のカスタマイズによる業務支援</p> <p>②3Dモデルやデータを活用した新しい事業監理の提供、提案</p> <p>③コリンズ・テクリスシステムや建設副産物システム等のJACICルームとのシングルサインオン</p>			
5. 活用実績			
<p>淀川等防潮鉄扉閉鎖訓練時の専門画面活用 倉吉河川国道事務所等での雪害対策時の専門画面活用 ダム事業の事業監理でのJACICルームの活用</p>			

6. 写真・図・表



JACICクラウドの基本構成イメージ

● JACICソリューションデモ (防災タイプ)

07:56

- 地点・現場撮影写真 (自動登録)
- 地図表示情報選択
- 作業者位置情報
- 現場撮影写真 (サブ画面)
- 現場写真等の拡大 (メイン画面)
- メイン画面表示写真の位置情報

- 降雪時の状況を、地図上で、凡例や映像により、関係者で情報共有します。
- 現地班は、端末操作により、状況の凡例登録、写真撮影、ライブ配信を行います。
- 本部は、状況を確認し、対策の検討、指示を行います。

JACICルーム専門画面活用事例